

これからの「地域づくり」のきっかけづくり (第2次 山都町総合計画地域ビジョン)

●第1回目のワークショップ

第1回「わが地域の性格を知ろう！」として、平成25年11月27日から全28自治振興区を2〜3つの計11グループに分けて実施しました。各自治振興区から、地域の皆さんが知っているものから、知る人ぞ知るものまで、様々な「地域の宝物」が挙げられました。

■第1回目のワークショップのながれ



①地域の宝物(場所、行事や共同作業、人など)を書き出しました



②書き出した資源についてグループ内で共有し、話し合いました



③資源の中で大切なものを選び、1人2票ずつ投票しました



④グループごとに出された資源について発表しました

●第2回目のワークショップ

第2回「目指す地域像を考えよう！」として、平成26年1月8日から自治振興区毎(県の里モンプロジェクトを活用して別に集落ビジョンを策定する御岳振興区を除く。)に実施しました。

■第2回目のワークショップのながれ



第1回目で出された地域資源をもとに、①「これからも大切にしたいこと」②「今後新たに取り組みたいこと」を書き出し、書き出したものをグループ分けし、グループタイトルを付けました。



書き出された①②の中で「地区にとって必要なこと(重要度が高いもの)」を選び1人2票ずつ、②の中で「すぐにできそうなこと」を選び1人2票ずつ、それぞれ投票しました。その後、グループ毎に発表しました。

「やまと未来図ワークショップ」

※ワークショップの様子はFacebookに掲載しています。ネット環境のある方は是非ご覧ください。

第2次山都町総合計画

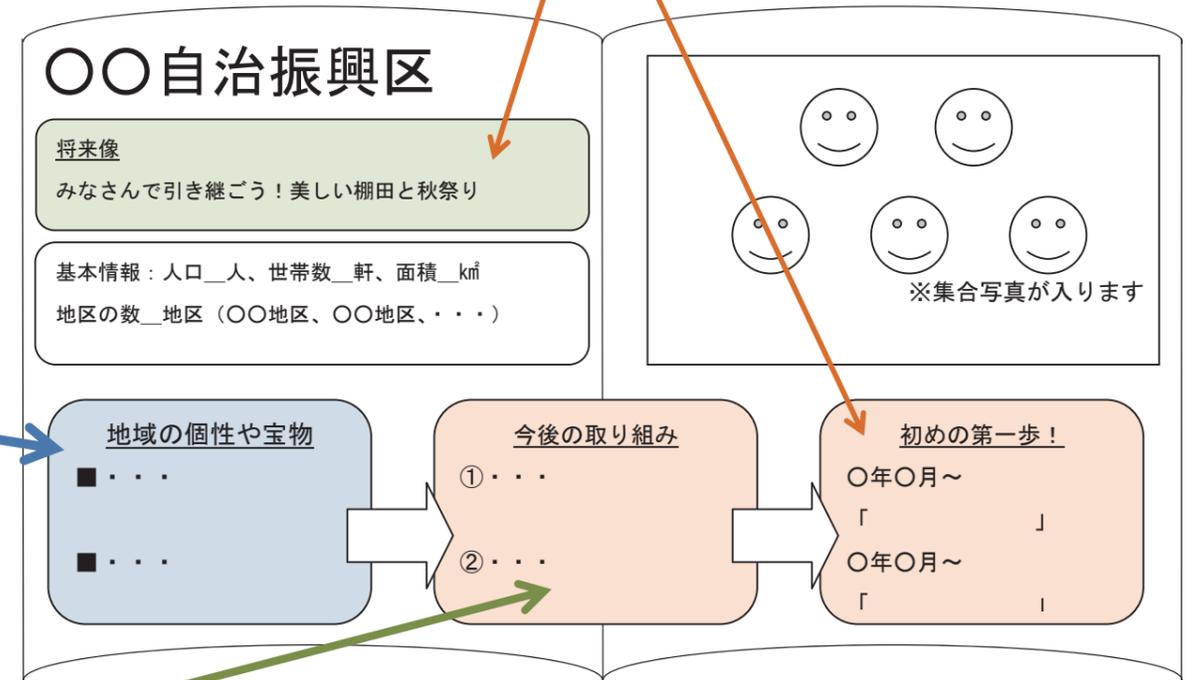
検索

●第3回目のワークショップ

第3回「始めの一歩を踏み出そう！」として、平成26年2月24日から自治振興区毎(県の里モンプロジェクトを活用して別に集落ビジョンを策定する御岳振興区を除く。)に実施しています。

第3回目では、第2回目書き出された「すぐにできそうなこと」の中で得票の多かったものに関して、「誰が」「いつ」「どのように」取り組むのか検討していきます。そして、その取り組みが実現すると、どんな地域の将来像が描けるのか、若しくはどんな地域を目指していきたいのかを想像しながら、1行キャッチフレーズの案をグループ毎に考え、最終的に振興区のキャッチフレーズを決定します。

■地域ビジョンのイメージ(総合計画内に取り込む)



●やまと未来図ワークショップ終了後の次への展開

計3回で作業を終える「やまと未来図ワークショップ」ですが、完成した今後の取り組みやキャッチフレーズ等について、地域を盛り上げる「きっかけ作り」として活かしてください。

今後、取り組みを具体化するに当たり、予算面等様々な課題が浮かび上がってくるかと思いますが、平成26年度から自治振興区独自事業補助金を時限で積立て可能になりますし、国や県の補助メニューを活用できる可能性もあり、町としても今回の取り組みを是非次に活かしたいので、役場地域班や企画振興課に積極的にご相談ください。

なお、今回のやまと未来図ワークショップの実施に関して、参加者の調整や会場、時間の設定等、各振興区の代表者にご調整いただいています。この場を借りてお礼申し上げます。

詳細は、役場 企画振興課(72-1214)へお尋ねください。